

## 舞中革命 始まりの予感！

台風14号が過ぎ去り、朝夕少し涼しくなり、だいぶ過ごしやすくなったように感じます。

さて、11日(日)には創立20周年記念第20回体育大会を開催することができました。今年もコロナ禍での開催となり、感染対策を行った上で、規模を縮小しての大会となりました。いろいろな制限のある中、生徒らは練習から準備・本番と一生懸命に自分の役割や自分の出番をやり遂げる姿がありました。各学年の徒競走、学年種目、全員リレーでは学級の団結力や学年のまとまりを強く感じました。夏休みを返上して練習してきた応援団の演舞はどの団も迫力があり、演舞内容も素晴らしく、甲乙付けがたいものでした。



赤団の演技の部優勝、青団の応援の部優勝はともにその栄光は輝かしものでした。私はそれ以上に黄団の応援団の流した涙にじーんと胸打たれるものがあり、賞賛の拍手を送りました。涙を流すことができるぐらいに精一杯、一生懸命に若い命を燃え上がらせて取り組んだからこそ、流れた涙ではなかったでしょうか。それくらいこの体育大会にかけた強い想いを垣間見たようでした。生徒諸君、「よく頑張った」「あなたたちはすごいです。グレートです。」

私は体育大会が終わって、学校生活の中で二つの生徒の変容を感じています。

一つは「あいさつ」。あいさつの声が大きくなり、お辞儀をしてあいさつができる生徒が増えました。



二つ目は「授業への集中力」。以前より先生の説明や友達の見解をよく聞けるようになってきているように思います。舞中生徒の潜在能力は計り知れないものがあります。一人一人が自分の可能性を信じて努力を重ねることによって、

花開き、学校全体も百花繚乱のごとく、今以上に一人一人が輝くことを願っています。